

る。緊急ではないが対応が必要な舗装等について引き続き対応していききたい。

中野区長：必要な維持管理ができるように関係局に予算の要求をしていききたい。

望月議員：住み続けたい街、住みたい街となるよう引き続き対応をお願いしたい。

【自治会・町内会支援事業】

望月議員：自治会町内会加入促進について、大規模マンションへの働きかけは行っているのか。

篠崎地域振興課長：自治会未設立の大規模マンションを対象に、自治会町内会設立に向けた機運向上につながる講演会を実施した。住民の関心の高い防災をテーマとした講演会を契機として自治会活動への関心を高め、自治会活動に関する情報提供を行うことで、自治会設立の機運醸成を図った。

望月議員：連合町内会への加入について課題はあるのか。

篠崎地域振興課長：自治会設立を第一目標とし、連合町内会への加入も働きかけていく。

望月議員：自治会は設立しているが、連合町内会未加入の場合、未加入の理由に耳を傾け対応をしていただきたい。

【まちづくり総合調整事業】

草間議員：区民文化センターの整備にあたり、ボッシュ株式会社の研究施設が併設されることから、都筑区に海外から多くの外国人が流入すると思われる。外国人との共生についてどのように考えているのか。

佐藤区政推進課長：区民文化センターの整備の中で、にぎわいづくりや国際交流の取組を検討したい。

草間議員：国際交流はどのように進めているのか。

篠崎地域振興課長：つづきMYプラザに、国際交流ラウンジの機能があり、外国人のための日本語教室、学習補習利用、多言語による情報提供等を行っている。

草間議員：外国人のための子育て情報の提供について考えはあるか。

中野区長：子育て支援について、区内のNPO法人のノウハウを参考にし、区民文化センターのオープンまでに必要な体制を研究していききたいと考えている。

草間議員：国際交流ラウンジだけでは対応できない課題について、ノウハウを有するNPO法人と連携し、多様化するニーズに対応できるよう検討をしていただきたい。

望月議員：区民文化センターについて、事業者決定後、地域等から意見が寄せられているか。

佐藤区政推進課長：昨年 11 月に事業者が決定した旨を地域の皆様にお知らせしたが、意見は寄せられていない。

望月議員：区民文化センター周辺の導線について、一層住みやすい街づくりや地域の活性化を念頭に進めていただきたい。

佐藤区政推進課長：周辺道路やみなきたウォークなどの導線等、関係局と連携し進めていく。

望月議員：多くの区民の皆様が満足できる方向で、施設も含めた土地利用を進めていただきたい。

藤居議員：ボランティアバスについて、運行ルートや体制はいつ頃決まるのか。

佐藤区政推進課長：現在、実証運行期間中であり、今年度中に本格運行に向けた方向性を検討している。地域の皆様と組織、資金計画について道路局とともに議論をしている状況である。

藤居議員：利用される方も議論に入っているのか。

佐藤区政推進課長：利用される方にはアンケートをとり、方向性を検討している。

斎藤議員：区民意識調査について、調査数や質問項目を追加した箇所について伺いたい。

佐藤区政推進課長：調査人数は 3,000 人で、質問項目は 39 問になっている。災害対策、子育て支援等の質問に加えて、地域の福祉保健活動の質問項目を追加して 39 問となっている。

【つづき健康づくりサポート事業】

藤居議員：都筑区民のがん検診の受診率について伺いたい。

山本福祉保健課長：29 年度の受診率になるが、胃がん 5.8%、子宮がん 41.4%、乳がん 26.7%、大腸がん 15.6%、肺がん 13%で、胃がんのみ、市の平均受診率を下回っている。

藤居議員：受診率が低いため、受診率を上げていく方法は検討しているのか。

山本福祉保健課長：健康福祉局から対象者の方に検診のご案内を送付して

いる。

藤居議員：受診していない方への個別の案内は行っているのか。

山本福祉保健課長：個別の案内は行っていないが、様々な機会を利用してがん検診の受診の啓発を行っていく。

【障害者交流啓発事業】

望月議員：障害者の方と地域の方々の交流機会を増やす対策について伺いたい。

鈴木高齢・障害支援課長：平成 30 年度は、障害者のグループホームが地域の防災拠点の防災訓練に参加している。地域の方々からは、障害のある方々と顔が見える関係作りにつながったなどのお声をいただいた。

永井福祉保健センター長：今年度は、福祉農園事業の啓発イベントを区民ホールで、障害についての講演会を公会堂で実施する。この講演会等を地域の皆様との交流の場としていきたい。

望月議員：自治会町内会への加入や地域防災拠点における訓練への参加等、災害時に備えて区民意識を高める対策を伺いたい。

中野区長：阪神淡路大震災で助け出された 8 割の方が地域で助け合って救出されたこともあり、そういった話を自治会加入についての話をする際に伝え、自助共助にご理解をいただいている。引き続き、災害時対応を含め地域とのつながりが深めていきたい。

【危機管理対策推進事業】

藤居議員：予算額増額の 472 万円の内訳は、防災・生活マップやハザードマップの増刷及び防災用スピーカー設置によるものか。

金指総務課長：その通り。防災用スピーカー設置については、約 300 万円計上している。

草間議員：防災用スピーカーの設置は区配付予算対応ではないのか。

金指総務課長：区として、河川の氾濫に対応するためのスピーカーを、早淵川及び鶴見川沿いに整備している。総務局で設置する Jアラート対応スピーカーとは使用目的が異なる。

草間議員：Jアラート対応のスピーカーとの違いはなにか。

金指総務課長：総務局で設置する Jアラート対応のためのスピーカーは、所定の半径の中で人口が多いところから優先的に設置する予定となっている。河川の氾濫に対応するために川沿いに区が設置している防災用スピーカーとは違い、川沿いではない地域防

	<p>災拠点や消防出張所などにも設置される。</p> <p>【その他】</p> <p>草間議員：先日発生した大津市の事故に伴って、道路局で交差点の一斉点検を行うと報告があったが、点検箇所をどのように決めたのか。</p> <p>仲澤土木事務所長：道路局が過去3年間で事故があった場所を抽出している。</p> <p>草間議員：土木事務所からの意見等を道路局が集約する流れが適切であるため、今後調整をしていただきたい。</p> <p>仲澤土木事務所長：道路局と調整していきたい。</p>
備 考	